

総合的な学習の時間 学習指導案（中学校）

1 単元名「国際交流をしよう」

2 本時の目標

- ・ゲストティーチャーとの交流を通して、日本と他国の文化や生活習慣の違いや共通点に関心、興味をもつことができる。
- ・ゲストティーチャーに日本文化や生活習慣などをわかりやすく伝えることができる。

3 本時の展開（7／10）

時間	学習内容と生徒の活動	○教師の支援
	1 挨拶をする	
	2 本時の活動内容を確認する。	○ワークショップ形式で交流会をすることを伝える。 ○4人のゲストティーチャーを紹介する。
ゲストティーチャーとの交流を通して、お互いの国について理解を深めよう。		
	3 班員一人一人が簡単に自己紹介をする。	○それぞれのゲストティチャーに各班に入るように伝える。
	4 ゲストティーチャーの自己紹介と、出身国の紹介を聞く。	○ゲストティーチャーに対して、文化・食べ物・出身国の言葉・簡単な挨拶・学校の様子などを語ってもらうように事前に伝えておき、生徒にも伊所の事柄に関して、自己紹介を聞いている間に、質問ができるように準備してしっかり聞くように伝える。
	5 ゲストティーチャーに質問をする。	○質問が出ない場合は、感想などを交流してもよいことを伝える。
	6 日本文化や日本での生活について、ゲストティーチャーに説明する。	○事前の活動の中で、日本文化や生活について資料等を準備させ、役割分断するなど、わかりやすく説明できるように支援する。 ○学校生活や食べ物など、テーマを絞って意見交換がしやすいように支援する。
	7 本時の活動を振り返る。	○授業の感想や、次回交流会に向けての改善点などをまとめる。
	8 挨拶をする。	